

すいざわ

62/11

No. 16号

谷町 小6年 豊田泰徳

秋の味覚・収穫

「ウワー。大きいイモ！」
「あつた。あつた。これも大きいよ。」
夢中になって土を掘りおこす
土の中から出てきたイモ虫の幼虫を
得意気に見せてまわる
秋の一日、自分たちで作ったものを
収穫する「よろこび」を知りました。

谷間でわがものがおの「あけび」
宮妻峡附近の溪谷にて



みんなで楽しい「いも掘り」

地区市民センター西側の学習園にて





水沢野田町の公会所は、昭和五十三年八月に地区のほぼ真ん中に位置する場所に竣工

水沢野田町公会所

し地区民の公共の場として色々と利用、活用されています。自治会の会合、子供会、青年団、老人会活動、それに最近少し下火になったカラオケの場等として利用されています。確かに自治会の会合などで個人宅を利用することも少なくなり、家族の方々への迷惑も軽減されていますが、全体的にはまだまだ十分に活用されているとは言えないようです。子供会や幼児にとっても楽しくて使いやすい場所かという点と遊具や砂場などもあっても良いのにとの声を聞くこともあるし、老人会では、一階が



土間で二階が床となっているのを一階にも床をはって安全で利用しやすいようにしてほしいとの要望もあるらしい。それに、当地区では、活動が少くない婦人会に対しても意欲をかきたてる施設の充実も出来ればいいかもしれない。場所の問題や金銭的問題と解決すべき事は、山ほどあるけれども、今後、より以上に利用しやすい公会所を考えていきたいものです。(加)

文化祭作品の見方について

西条町 H生

作品を出品されるかたは、人様に見てもらうのだからいいかげんものは出せない。

今年より来年はと一生懸命丹精こめたものを出品するのです。私はなんとなくあわただしくて、落ち着いて見せて頂けない方ですが、作品の前に立って思うことを上げてみたい。

1. まず素晴らしい。
2. 長い期間かかったら。
3. この写真が撮れる所まで行くには大変だったろう。
4. この小さい枝を折らかしたら



とか素朴な想像をめぐらしてみる。

そして、世の中にはこんなにも色々趣味があるのかと驚いたり憧れたりもする。新聞とか広報にみる何々展という専門の展覧会には得られない広い趣味の世界を見る、よい機会のように思う。

すこし掘り下げて考えれば作品によってはどんなのが良いか、どのようにして作られたのか、見当すら分らないことがおおいのではないだろうか。知りたいと思ってても容易に分かるものではないが、ちょっとした説明、また、小さな講座でも開かれて、作品の見方だけでも分かれば作者の意図するところも分かり、又自分でもやってみようかなと思うのではないだろうか。



葉月の十五夜が間近となった月曜日、会の練習場を訪れると、会場の中央でお茶を飲みながら話し合う人もあり、また一方ではキャンバスに向って黙々と絵筆を運んでいる人がいる。皆それぞれに「絵」に想いをい込んでいるのだろうか。

趣味の絵書きだと云う会員であり、画歴は各人各様でありながら優秀な「絵書き」である。三年半程前に発足したグループですが、辻すへ子先生(日展画家、西条町在住)を師として市民展入選及び県美術展に入選する方もあり大変活躍されている。



現在会員は、男女合わせて十名ですが、もう少し増員を計り、会の充実を願っているとのことですが、特に若い世代の入会を期待しているそうです。(義)

みんなで育てよう、ふるさとの文化

水沢地区の文化祭が来たる11月14・15の両日水沢小学校で開催されますが、私達は「文化」という言葉に何かしら引きつけられるものを感じます。

みなさんも丹精こめて作った作品の出品準備にお忙しいことでしょう。また音楽やダンス、民謡などを発表される方々、実に大勢のみなさんが年に1回の文化祭を心待ちにいられることと思います。

そこで今回、今後とも文化祭を盛大に、そして意義深いものにするために地区文化祭に関するご意見やご希望および反省等の投稿をいただきました。(文化祭関係の写真は昨年撮影したものです)

みんなの参加で文化祭を…

北谷町 畑中 博

水沢地区の文化祭には、昨年はじめて会場の設営作業に参加し、展示作品をゆっくりと見学させて頂きそれぞれの分野の立派な作品に深い感銘を受けました。その場で感じた事を申し述べたいと思います。このような作品を一人でも多くの人に見て頂き地区民の知性と教養そして審美眼の向上に役立てばどんなに素晴らしいことだろうと思いました。又多くの人々が秋の一日、一堂に会してお互いの交流を計るのも意義ある事と思われます。そのためには、一人でも多くの人が参加出来る会場造りが必要です。その対策として、

1. 出品された作品に見学者の皆さんの投票で優秀な作品を表彰する制度を作ってはどうか。
2. 会場内に喫煙場と、兼用の大勢の人が休息出来る施設を設置して昼休みなどのひとときを楽しく過ごして頂く又その時間帯にのどじまん等催されたらと思います。



3. 先回の会合でかかしコンクールの話がありましたが、これは存続すべきだと思います。自分達の作った作品が展示される事は子供達の制作意欲の向上にどれほど役立つか計りしれないものがあると思います。



いづれにしても老若男女の誰もが参加出来る楽しい会場造りが文化祭を大いに盛り上げる事と思います。

子供達がマンガ創作に熱中する過程で、思いっきり自由な個性的な考えが生まれないものであろうか。又、その考えを楽しく、ユーモアに表現する為のねばり強さを発揮してくれないものであろうか、と願っている。

座することを忘れかけている我々には、たとえ短時間でもゆっくりと畳にすわって机に向かうこのひとときがほんとうにくつろいだ気分になれる。勿論体の為、容姿の為とだんだん椅子の生活がふえていますが、我々日本人は座して字を書く習慣も捨て難いと思います。立派なお手本を頂いても筆の運びかたのわからない字、時には読めない字も多々あります。それでも凝りもせず下手を承知で、白い紙黒い墨に挑戦しています。でも一年に一度の文化祭には自分達なりに力一杯の力作をと思っているのです。さて、どんなのができるでしょうか。………

期待する文化祭

茶屋町 小林 ミチ

何もかも投げ出したくなるような猛暑が過ぎ、日に焦げた肌に秋風がさらりと通り過ぎて気持ちよい気候となりました。あちこちで文化祭の行事を耳にします。実は昨年四日市市の熱海大学で焼き物、俳画等を教えて頂いてから出品

作品を奥深く味わって見ることに気がつきました。作品を通して作者の思い、努力、技量、くらしの有り様等パノラマの様に味わってみます。感動の薄れゆく熟年の年代に文化祭は素晴らしい刺激です。『まだ、隠居は早い』と叱咤激励される行事でもありません。皆様方の心と技量の文化祭を待ち遠しく思う昨今でござ

子供と文化祭

水沢小校長 木村 裕司

昨年、映画会がありマンガのあと「男はつらいよ」が上映されると子どもの姿はなく、構内はカラッポになってしまった。

子供達のマンガ好きを端的にあらわした情景でもある。好きな事に取り組む子供達

は意欲的で時間の経過もわすれがちである。このエネルギーを、子供達の文化祭への積極的な参加意欲に転換したいものである。ひとつの考えとして、子供達の手作りのマンガコンクールを試み、子供達の心をゆさぶってみてはどうだろうか。マンガを読む、見るの行為はどの子もしている。ところが、自分の頭を働かせ自分で笑いを作り、表現する体験はほとんどの子供達にはないと思われる。

静と動

三本松町 静子



すいずわいとし

水沢に生まれて、地名のごとく水と触れ合って育った気がします。

私の家の近くには、水車小屋がありました。『写真』春には雪解けの水で『コトコト』と回り始めます。その中を二十日鼠のように走ったり、夏には滝のような水に打たれ、冬になると水車に自然の『水の芸術』ができソララを折って遊びました。

又、川にはどじょうや魚がたくさんいました。石垣の間に静かに手を入れると魚に触れそのてづかみの楽しみが忘れられません。

池では魚釣りをしたり、冬になって厚い氷が張るとその



うえて滑って遊び、注意されたこともありました。我々団塊の世代の良き思い出です。今の子供達にもいつまでも心に残る故郷であるように『山紫水明』で触れ合える自然の多いこの地『水沢』であってほしいものです。

木犀の静かにこぼれ黄昏がれる
昨日とは違う風あり今日寒露
西条町 森 よしゑ

背伸びして藁塚数多仕上げた
宵の酒ひなびた皿の衣被
三本松町 清水 早苗

共に老い共に仰ぎて今日の月
民衆の中に吾あり菊人形
本町 森川恵美子

胃カメラに「かつ」と口開け
彼岸花
枯葉舞ふ人は去就に迷ひずめ
西条町 辻 芳章

俳句



西条町 辻 彰史

水沢三三情報

三〇六号

バイパス

四ツ谷地内の国道三〇六号線道路改良工事が急ピッチで進められている。延長八十五m道路幅十m（内車道六m）の国道バイパスが来年三月に完成の予定である。尚、青木川地内については現在用地の買収交渉中であり、成立次第工事に着手する予定のことである。



完成間近かのR306



本館前で

市少年自然の家 完成

昨年より建設中の「市少年自然の家」が完成、十一月八日落成記念式典が行われた。水沢町字大谷、市青少年野外活動センターの隣接地に建てられ、鉄筋コンクリート三階建ての本館は二百人収容の宿泊室、食堂、研修室、医務室がある。二階建ての体育館は吹き抜けになっている。合わせて延べ三千平方メートルの立派な施設で早くも自

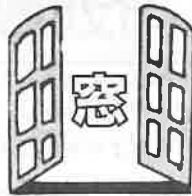
大門池と自然の家

然観察、星座観測など市内の小中学生に大いに利用されている。

生活改善運動

地区社協では皆様からいただきましした寄付金を、社会を明るくする運動へ協力、戦没者慰霊祭、連合運動会、地区文化祭、敬老会、青少年健全育成事業、広報活動等々有意義に活用させていただいております。今後共生活改善運動推進にご協力いただきますようお願いいたします。五月以降こ

寄付いただきました方のご芳名
 豊田 政巳様 西條町
 田中 和彦様 谷町
 萩村 章様 東町
 児玉 貞夫様 北谷町
 豊田 了様 三本松町
 井田 隆行様 本町
 清水 きみ様 水沢東町
 （敬老祝金をご寄付いただきました）



需要拡大には

一服のお茶が私たちの心に安らぎをもたらすことは、誰でもよく知っていることです。が、このところその緑茶の消費について、どうも雲行きがややしくなってきた。

ウーロン茶ブームやコーヒーなどの攻勢の前に日本茶の消費量はピーク時（五十年）の十一万トンから現在は九万五千トンまで落ちこんだという。消費者ニーズの多様化とい

われて久しいが、相変わらず「味と香りの〇〇茶」と産地間のシェア争いでは全体の需要拡大の方策にはならない。毎年秋になると「お茶まつり」が開催される。茶業振興大会や品評会が行なわれるが、参加する人は生産者と問屋は

位ずつ伸びている。さらにこれを伸ばすには家庭での夕食のあとの消費を伸ばすことだと、国内最大のコーヒーメーカーは「和食のあとのコーヒー」の大キャンペーンを展開している。写真
 また数年前までは、存在

和食のあとは……

かりである。これらの催しはそれなりに意義もあるが、年々変化していくニーズに答え、需要拡大を計ることがより急務ではないか。

他業界の攻勢

コーヒーの消費量は年四%

すら知らなかったウーロン茶の消費量も年々増大し、六十年は一億二千五百トン、六十年は一億四千七百トンが輸入されており、その割合は日本茶の十五、五%にもなっている。

世はPR時代

お茶にはカフェインやビタミンCが含まれ、抗ガン作用があるなど驚くほど効能がありながら消費者にはあまり知られていないのはなぜだろう。お茶を作ることは上手であつても、宣伝が下手なのである。要はPR不足そのものである。生産農家の集まりでは、全国的な消費宣伝に取り組み必要性は強調されるが、カネを拠出するまでには至っていないのが現状である。

我が国の農業界の中でも茶業界は消費拡大宣伝の努力が足りない。しかし、もう他人まかせではいけない。生産農家自身が消費宣伝費を負担し

ても、需要全体を拡大しようという意識を持たなければならぬ。

「ごはんのあとは
 お茶が一番！」

茶甚



編集部から

しばらくとどえていた水沢地区文化祭も五十六年に再開されて以来七年目になります。その間、内容も皆様のご協力で随分と充実し、作品も年々すばらしいものが出品されるようになりました。

そこで広報部では、文化祭をより意義ある、楽しいものにするため、みんながもっと参加できるように、一度文化祭について考えたらと思いました。

今年の文化祭でお気付きの点、またご意見がございましたら遠慮なく広報部までご一報いただけたら幸いです。